

第4回浦内橋環境モニタリング検討会(R6) 議事概要

1. 開催日時

令和6年9月30日(月) 午後1時15分～3時15分

2. 開催場所

オンライン開催

3. 出席者(敬称略)

(1) 委員

立原 一憲 元琉球大学理学部 教授

傳田 哲郎 琉球大学理学部 教授

伊澤 雅子 琉球大学 名誉教授

(2) 関係者

石原 航 環境省西表自然保護官事務所 国立公園保護管理企画官

(3) 事務局

沖縄県土木建築部 八重山土木事務所 維持管理班

渡真利 尚樹 班長

久田 弘二 主任技師

大城 舟人 主任

株式会社 沖縄環境保全研究所

西垣 孝治

末吉 孝太郎

渡嘉敷 真司

4. 議題

(1) 第3回検討会(R5)における意見等と対応状況・方針について

(2) 工事中の環境モニタリング調査結果の報告

(3) 今後のモニタリング調査内容及び工事計画

(4) 今後のスケジュール、その他

5. 議事概要

議事（1）第3回検討会(R5)における意見等と対応状況・方針について
以下のとおり質疑・応答がなされ、第3回検討会(R5)での意見等への対応状況・方針について確認が得られた。

(ア) イリオモテヤマネコについて、自動撮影機で急に写らなくなった場合や現地調査中に何らかの変化があった場合にも西表野生生物保護センター等と情報を共有していただきたい。

【回答】

自動撮影機の回収以外の現地調査時においても、変化等が確認された際、特にイリオモテヤマネコに関わることについては、これまで同様、情報共有していきます。

議事（2）工事中の環境モニタリング調査結果の報告

以下のとおり質疑・応答がなされ、工事中の環境モニタリング調査結果について確認が得られた。

(ア) 左岸側のカムリワシの繁殖状況については、新たな個体の定着等に注意していただきたい。

【回答】

鳥類の専門家からの助言等も踏まえ、つがいの片方の個体や新たな個体の定着等、生息状況を把握していきます。

(イ) 鳥類の確認種一覧表について、渡りの区分や利用する環境で整理したほうが工事による影響を受けやすい種とそうではない種が分かりやすく、その影響も把握しやすくなるので、整理方法について、検討していただきたい。

【回答】

渡りの区分や利用する環境での整理も行い、工事による影響の有無について、把握していきます。

(ウ) 自動撮影機にヤギ、イエネコ、イヌが撮影された場合、リアルタイムで情報共有していただきたい。

【回答】

自動撮影機での映像確認のほか、現地調査時に確認された際には、リアルタイムで情報共有を行います。

(エ) イリオモテヤマネコ以外の動物で極端な増減が確認された場合には、

それらについても工事による影響について、検討していただきたい。

【回答】

イリオモテヤマネコ以外の動物についても確認状況の推移を整理し、工事の影響の有無について、検討します。

(オ) ロードキル調査で確認された種名リスト等を確認させていただきたい。

【回答】

確認種リストについて、参考資料として整理しているので、参考資料-5を確認ください。

(カ) 注目種であるウラウチイソハゼが確認できなくなっているので、浦内川での生息状況について、確認していただきたい。

【回答】

モニタリング調査地点で確認できない場合、アトック島周辺も含め、調査地点以外の場所での生息状況調査の実施を検討します。

(キ) 定量調査を実施しているニセシラヌイハゼについて、他のハゼも減少傾向にあるように思えるので、底質の変化にも注視した調査を実施していただきたい。

【回答】

底質の状況も併せて、継続して調査を実施します。

(ク) 仮橋下に堆積したシルト分について、台風時や大雨の際に流れているかどうかと併せて、下流側への広がり程度についても確認していただきたい。

【回答】

仮橋下のシルト分の堆積状況については、適宜、写真撮影等で確認します。また、下流側への広がり具合については、底質調査等で把握していきます。

(ケ) 底質調査や下流側で確認されているシルトが当初からあったシルトなのか、杭打設時に出てきたシルト由来なのか、確認していただきたい。

【回答】

確認可能かどうかも含めて、その方法について、検討します。

(コ) 自然繁殖した築堤部のミミモチシダについて、今後移植するなどの方針はどのようになっているのか伺いたい。

【回答】

現時点で対応方針は未定ですが、築堤撤去後の原状回復における緑化種としての利用など、有効利用を検討します。

- (サ) 下流側へのシルト拡大で陸化した場合、外来種等の侵入が懸念されるので、下流側への外来種の侵入についても注視していただきたい。

【回答】

外来種の分布状況調査において、必要に応じて、調査範囲を拡大するなど、外来種の下流側への侵入に注視します。

- (シ) 工事資機材搬入時の外来カエル類の外来種対策について、引き続き、協力していただきたい。

【回答】

工事資機材搬入時には、搬入日時、場所について、環境省へ連絡し、可能な限り環境省職員も立ち会えるようにします。

- (ス) ロードキル対策として設置している注意看板について、定期的なデザイン変更や期間限定でのライト点滅やのぼり設置など、変化をつけていただきたい。

【回答】

工事業者とも相談し、可能な範囲での対応を検討します。

議事（3）今後のモニタリング調査内容と工事計画

以下のとおり質疑・応答がなされ、今後のモニタリング計画及び工事計画について確認が得られた。

- (ア) 杭打設時に発生するシルトについて、堆積状況や流出範囲、底質変化などに注視し、必要に応じて、新しい調査の追加も検討していただきたい。

【回答】

今後もシルトが与える影響を注視してまいります。

以上